

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	複合経営・多角経営	担当	県農業技術職員	実務経験	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
科目の種別	教養 共通 <input checked="" type="radio"/> 専攻 <input type="radio"/>	対象学生	1年 <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農 <input type="radio"/>		
学期	前期 <input type="radio"/> 後期 <input checked="" type="radio"/>	時間数(単位数)	16時間(1単位)		
授業形態(○記入)	<input checked="" type="radio"/> 講義	<input checked="" type="radio"/> 演習	実験	実習	<input checked="" type="radio"/> 見学

科目内容(教育研修計画より転記も可)

1. 土地利用型(水田)農業の成り立ちおよび経営の発展
2. 複合経営・多角経営の取り組み状況
3. 複合化の技術(省力稲作、少量土壌培地耕、ポット栽培等)

授業内容(4時間を1回分とした内容)

第1回(4時間)	1 土地利用型(水田)農業の成り立ちおよび経営発展の方向性 圃場整備、転作の経過、稲作経営の発展
第2回(4時間)	1 経営の複合化と多角化(定義) 2 県内農家の取り組み状況、複合化および多角化(直売、契約、観光、加工、輸出)の現状
第3回(4時間)	1 複合経営で取り込まれる技術について ・省力稲作・少量土壌耕・プランター栽培・果樹のポット栽培 2 施設園芸の基礎(溶液栽培の仕組み、ビニールハウスの構造)
第4回(4時間)	効率化・複合化・多角化に向けたシミュレーション、経営体(法人)の経営計画検討

使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入

滋賀の農林水産業 抜粋

到達目標

複合経営・多角経営の現状が理解できている。  
日本の農業の成り立ちが理解できている。  
複合経営の効率化・複合化・多角化に向けた経営計画検討ができる。

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))

- 記述テスト    ○出欠状況    ○提出物の有無と内容  
○授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。